

自然資本管理の

すすめ方の

参加費
無料

「多様なセクターの参加による自然資本管理のための論理と技術」

3/15 金 13:00 ~ 17:00
2024.

会場

京都先端科学大学太秦キャンパス W204

京都府京都市右京区山ノ内五反田町 18

京都市営地下鉄東西線 太秦天神川駅 下車徒歩約3分 / 京福嵐山本線 嵐電天神川駅 下車徒歩約5分

定員

120名 + オンライン (ZOOM ウェビナー)

参加申し込み

以下のフォーム、またはQRコードからお申し込みください。
<https://forms.gle/VnBLq6ptKUfEdBXk8>

申し込み期限

3月6日(水)

お問い合わせ

丹羽 英之 (京都先端科学大学)
niwa.hideyuki@kuas.ac.jp

QRコード ▶





第39回ニッセイ財団 環境問題助成研究ワークショップ

自然資本管理のすすめ方

— 多様なセクターの参加による自然資本管理のための論理と技術 —

開催趣旨

生物多様性条約 COP15 で採択された「昆明-モントリオール枠組」や、「生物多様性国家戦略 2023-2030」では、「自然に根ざした社会課題の解決 (NbS)」や「自然共生サイト・OECM」をツールとして「生物多様性の損失を止め、自然を回復軌道に乗せる (Nature Positive)」ことが目指されています。そして、これを実現するためには、自然資本の上手な管理活用をそれぞれの地域で促進し、地域の政策に統合していくことが必要だと言うことは、皆が認識するようになってきました。今、求められているのは現場で使っていける論理と技術です。

今回のワークショップでは、景観生態学を基盤に持つメンバーが実践してきた協働による自然資本管理の過程を社会科学的な視点から整理し、そして、パターン・ランゲージによる読解をとおして、様々な地域で活用可能な技術として提供します。

プログラム

司会：NPO徳島保全生物学研究会・理事 / 徳島大学環境防災研究センター・客員准教授 飯山 直樹

開会挨拶 (公財) 日本生命財団 理事長 林 武史

I. プロジェクト「多様なセクターの参加による自然資本管理のための論理と技術」の背景

「自然資本管理の考え方—“混沌”を緩やかに整える」

兵庫県立人と自然の博物館・主任研究員 三橋 弘宗

「プロジェクトの紹介とワークショップの進め方」

徳島大学大学院社会産業理工学研究所・教授 鎌田 磨人

II. 対話による協働プロセスの掘り起こし—人のネットワークの拡大、地域政策へのインパクト

「自然再生と地域活性—トキが招き寄せた環境と農業の政策統合【佐渡市】」

聞き手：鳥取大学地域学部・准教授 大元 鈴子

大正大学地域構想研究所・准教授 岩浅 有記

「多様な人々による森の再生と活用【京都市宝ヶ池の森、沖縄県金武町のマングローブ林】」

聞き手：事業構想大学院大学・講師 田村 典江

京都先端科学大学バイオ環境学部・教授 丹羽 英之

鎌田 磨人

質疑応答
休憩

III. パターン・ランゲージによる読解と展開

「パターン・ランゲージとはなにか」

慶応義塾大学大学院政策・メディア研究科博士後期課程 鎌田 安里紗

「景観生態学は地域の自然と社会の関係性(風土)をどのように見るのか」

慶応義塾大学SFC研究所・上席研究員 長井 雅史

「自然資本管理をうまく進めるための秘訣」

鎌田 安里紗

総合討論 進行：事業構想大学院大学・講師 田村 典江

閉会挨拶 鎌田 磨人

ワークショップ終了後、希望者と研究会メンバーとの意見交換会(会費制)を用意しています。詳細については、参加申込みいただいた方に別途案内します。

時間/17:30~19:30 場所/京都先端科学大学太秦キャンパスレストラン

